



耐えることを知らなくなったから

校長 夏見隆晴

今のわたしたちは、本当に耐えることを知らなくなりました。今回もわたしが大学生だった頃から、お話を直接伺う機会に恵まれた作家の曾野綾子先生のお考えを参考に、現代に生きる者の心のあり方について考えてみましょう。さて曾野先生は「心の健康のための環境」という一文の中で「耐えることを知らなくなったから、犯罪は増えるのだと、私も思っている。それと、……ますます自分のしたいことだけ見えていて、それをするのが当然という身勝手な人々が増えてきた」と述べておられます。

確かに少しだけ耐えることができれば、犯罪にまで及ぶことは無かったのではないかとと思われる事件も多く見られます。それに、やりたいことをやって何が悪い、やりたいことをやるのは権利であると信じている人達も多くいます。「これはやってはいけぬ」と考えるのは、心の弱い者のすることなのでしょうか。こころの強い人というのは、やりたいことをやれる人のことをいうのでしょうか。世の中には、やって良いこととやってはいけぬことがあります。わたしたちも、このことは心に留めておきたいものです。

親が「そんなことはしてはいけません」と注意すると、子供は「みんなやっているよ」と答えます。それで親は「そんな時代なのか」と考え、妥協してしまいます。これは親としての子供を教育する権利や義務の放棄になります。わたしたちは機会あるごとに、「心の教育を大切にしています」と言っておりますが、具体的には、子供たちの心を強いものに鍛え上げることになります。安易な方向に流れないように、時には時代や世間の流れに抗してでも、忍耐しなければならないということを伝えることです。

「忍耐など今の時代に合わない」というのが普通かもしれません。忍耐などする必要なく、楽しく今日という日を過ごすことができれば、これに越したことはないという生き方もあるかもしれません。でも誰にとっても、人生はそんなに甘いものではないということは、わたしたち大人はすでに経験済みです。もしかしたら、人生の半分以上は忍耐の連続であったかもしれません。それならわたしたち大人は人生の先輩として、子供たちに良い忍耐をすることを教えておかなければならないでしょう。

聖書は「忍耐」について、次のように教えてくれています。「わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。希望はわたしたちを欺くことはありません。」(ローマの信徒への手紙5章3~5節) 今こそわたしたち親や教師は、人生の練達者としてわが子やわが生徒たちに対して、臆することなく、忍耐する(耐える)ことも生きる上での立派な行為であり、英雄的な行為にさえなるのだということを伝えておきたいものです。

すずと ことりと それから私 みんなちがって みんないい

知念 和代

『わたしと小鳥とすずと』の中の一説です。金子みすゞは1903年(明治36年)山口県生まれの童謡詩人で、「大羽鯛の大漁でわく浜は祭りのようだが、海の中は鯛のとむらいをするだろう」というハッとさせられる視点でかかれた「大漁」が有名です。『わたしと小鳥とすずと』は、昭和2年ごろの作品で、きれいな音を出すすずと私、そして空を自由にとべる小鳥と私のそれぞれの長所と短所を比べてみて、「みんなちがって みんないい」と歌っています。あなたはあなたでいいのですよと、個性との違いを認めた優しさを感じられる詩です。

これまで担任になったクラスでは、1年の中で一度、時には数回、学級の様子を見て、必ずこの詩を読み聞かせ、どの部分が心に残ったかを発表してもらっています。ほとんど生徒が、「みんなちがって、みんないい」を選びます。理由をたずねると、「やっぱり自分が一番だから」、「周りを気にすることはないから」、「人それぞれだから」など意見が多いです。その中で、私が一番印象に残っているのは、ある女生徒の次の言葉です。「みすゞさんは、みんなちがって みんないいフレーズの前に、すずとことりとそれから私と、タイトルと順番が逆転して、私を最後にもってきたところがいいなあと思いました。なぜなら、自分のことを主張するより先に、まるごと認めて受け入れているからです。」と。教室中が優しい気持ちに包まれた瞬間でした。そのときの、生徒達の表情は、今でも忘れられません。

生徒達には、自分を成長させる強さと、認める気持ち、そして、関わる人たちを“まるごと認めて、傷つけない”優しさと思いやる心を育てていきたいものです。

学校の中で、職場の中で、自分の気持ちと一番かけ離れた人に、一番に心を止めることが、大切だと思います。

平和月に中高では、慰霊の日へ向けて、平和巡礼、平和学習などが行われます。日々の生活の中で、金子みすゞの思いに触れ、私たちの中にある尊い心を見つめなおしていきたいものです。



6月の予定

日・曜日	行事計画
1日(日)	高校総体5月30(金)(~6/3)
6日(金)	中頭地区中学総体(~6/8)
7日(土)	平和学習 (ミサ) 英検(高2,3年全員受検:放課後)
11日(水)	授業参観(~6/12)
13日(金)	PUP (7校時のLHR)
16日(月)	教育実習生受入(~7/5)
18日(水)	委員会活動
20日(金)	漢検(放課後)
23日(月)	慰霊の日 平和学習
24日(火)	振替休日(6/23)
28日(土)	合唱コンクール 13:30~保護者会AED講習会(中1)





平和ミサの案内



6月7日(土) 8時30分より、カトリック真栄原教会にて平和ミサに与ります。特に出欠票などはありませんので、参加を希望される保護者の方は、6月4日までにお子様を通して学級担任に一言お知らせください。駐車場は教会駐車場を予定しています。もし変更の場合には、当日立て看板か教員の誘導によりご案内いたします。

新期役員・委員のご紹介

去る5月10日(土)に保護者会新旧役員交流会が開催され、色々な仕事の引継がおこなわれました。旧役員・委員の皆様ありがとうございました。また、新役員・委員の皆さんこれから宜しくお願いします。

【役員】

会長	5年	伊佐 浩さん
副会長	3年	新里 建二さん
副会長	3年	仲本 弘子さん
会計	2B・4B	謝花 由美子さん
会計	2A	松田 貴子さん
書記	5年	玉城 リサさん
書記	5年	朝永 玲子さん
監事	5年	宮城 孝守さん
監事	1A・5年	桂 ゆかりさん



【学級委員】

中1	清水 あゆみさん	松島 やよいさん		
中2	奥谷 直美さん	比嘉 竜也さん	奥平 哲史さん	崎山 真紀子さん
中3	新濱みどりさん	知念 美園さん		
高1	上江洲ジョアナ かおるさん	平安 三枝さん	金城真由美さん	具志堅 正さん
高2	大山 真理さん	池原 康代さん		
高3	新垣 智子さん	大田 淳子さん		

【広報委員】

中1	上原 玲子さん	岡橋 香奈子さん		
中2	儀間 さおりさん	外間 匡美さん	富川 留美さん	
中3	ウィンフィールド ひろみさん	上地 陽子さん	内間 りつ子さん	
高1	外間 涼子さん	道田 睦美さん		
高2	久高 恵美さん	出口 まどかさん	向井欣生(よしお)さん	大城 晃子さん
高3	大石 寿美さん	玉城 チヨさん	二俣 美恵さん	

中学・高校総体選手紹介

(中体連中頭地区大会)

	軟式野球	上地 慶維	3A
		榮 隆仁	3A
		奥谷 幹汰	2A
		長浜 栄作	2A
		安里 聖人	2B
		砂川 陽仁	2B
		マアバング サドウキエル	2B
		本田 香美良	2B
		清水 達仁	1A
		桂 幸太郎	1B
	バドミントン	マアバング ハニエル	3A
		矢幡 世里菜	2B

	男子バスケットボール	恩河 陽生	3A
		砂川 誠仁	3A
		藤原 辰之輔	3A
		又吉 仁光	3A
		仲本 政亜	2B
		蔵前 拓真	1A
		茶谷 琉太	1A
		宮城 マイケルベンジ	1A
		太田 雄貴	1B
		比嘉 和馬	1B
		松川 豪利	1B
器械体操	中田 海斗	1B	

(高校総体)

	水泳	二俣 竣亮	6A
	ヨット	林 秀光	5A
	陸上競技	玉城 大志 (走り高跳び)	5A
		乾 華子 (砲丸投げ)	5A



派遣費補助ありがとうございます！

中体連、中文連、高体連、高文連主催の大会やコンクールで県3位以上の成績を収め、沖縄県の代表として県外に派遣される場合、保護者会と学校より交通費及び宿泊費の一部を補助していただいております。今年度も地区中学総体や県高校総体が間もなく開催されますが、それぞれの力を十分発揮し、少しでも多くの代表権を勝ち取ってくれるよう期待します。保護者の皆様方も応援の程、宜しくお願いします。